



へきけんニュース

☎0154-44-3291 FAX0154-44-3292

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/

電子メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

《目次》

- ・へき地教育研究支援部門最近の動向から
- ・へき地教育研究支援部門構成員・業務紹介
- ・平成29年度「へき地教育研究計画」公募のお知らせ
- ・へき地校体験実習協力校一覧

1. へき研最近の動向から

へき地教育研究支援部門よりニュースレターをお届けします。本学のへき地教育に関する研究・教育活動が様々な機会に注目されています。本学のへき地教育研究がより深化していくように務めていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

学校・地域教育研究支援センター ヘキ地教育支援部門 部門長 川前あゆみ



《十勝へき地・複式教育連盟来学》



《釧路へき地複式教育連盟来学》

- ・釧路管内・十勝管内のへき地複式教育研究連盟役員が来学され、へき地教育に関する大学との連携事業協力の要請がありました。
- ・9月21～22日、全道へき地複式教育研究大会が釧路管内8会場で開催されます。



- ・グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ウルグアイの6か国12名の研修生が来道しています。
- ・初日は、各国からインセプションレポート発表が行われました。写真は、現地で一人の教師が4学年の複式授業を実際に指導している映像を紹介し、その課題を説明している様子です。

《JICA中南米へき地教育振興コース研修生受入 6月19日から3週間-釧路校-》

2. 平成29年度 へき地教育研究支援部門構成員の紹介

平成29年5月10日現在

平成29年度のセンター部門運営を担うセンター員, アドバイザー, 担当事務の方々です。よろしくお願ひします。

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
センター長	蛭田 眞一	副学長	センター員	水上 丈実	旭川校
部門長	川前 あゆみ	釧路校	センター員	越川 茂樹	釧路校
センター員	前田 賢次	札幌校	センター員	戸田 竜也	釧路校
センター員	今 尚之	札幌校	センター員	中川 雅仁	釧路校
センター員	阿部 二郎	函館校	センター員	廣田 健	釧路校
センター員	五十嵐 靖夫	函館校	センター員	森 健一郎	釧路校
センター員	渥美 伸彦	旭川校	へき地教育 アドバイザー	梅木 登喜雄	札幌校
センター員	勝本 敦洋	旭川校	へき地教育 アドバイザー	田中 和敏	旭川校
センター員	小出 高義	旭川校	へき地教育 アドバイザー	吉田 亨	釧路校
センター員	坂井 誠亮	旭川校	事務局	田中 郁	総務部総務課 地域連携G
センター員	芳賀 均	旭川校	事務局	長谷川 美緒	釧路校室 総務G

3. へき研部門の主な業務

へき研では, 以下の業務を主に担っています。

(1) へき地・小規模校教育に関する調査及び研究

『へき地教育研究』紀要第71号を刊行しました。へき地教育に関する論文は7本掲載されています。

(2) へき地・小規模校における教育内容・教育方法の研究及び開発

へき地・小規模校教育に関する教育内容研究と開発に取り組めます。今年度は, 新規に3分野の研究に着手します。

(3) へき地・小規模校の教育実践に関する企画及び推進

HATO連携大学との継続した実践的活動として, 愛知教育大学・東京学芸大学・大阪教育大学への“出前授業”を実施していきます。さらに, HATOプロジェクトによる開発教材を活用した現職教員等への研修と国内外への普及を推進していきます。

(4) 学生のへき地校体験実習の実施 -詳細は裏面の一覧をご覧ください-

平成29年度は, 旭川・札幌・釧路3キャンパスにおいて130名が受講します。平成30年3月8日には, へき地フォーラム(会場:札幌駅前サテライト)として各キャンパスの実習生代表による成果発表を行います。

4. 平成29年度「へき地教育研究計画」を募集します

本学の第3期中期目標・中期計画に伴うへき地教育研究の推進と、へき研が主に担っているHATOPプロジェクト事業における「へき地・小規模校教育に関するプロジェクト」の継続的発展的な活動が求められています。へき研部門では、平成33年度までを目処に上記の事業推進を併行して取組む必要が求められることから、新たな研究分野領域によるへき地・小規模校教育に関する研究開発を組織的に位置づけて進めていきます。

そのため、公募によって従来募集してきました、へき地教育研究支援部門の事業費による「へき地教育研究計画」を、平成29年度は予算枠縮小の中で下記のような方法で募集することになりました。

(1) 研究計画の申請

- * 研究課題は、右の3つの領域に属するものとします。
- * 研究計画書の請求は、へき研事務室（釧路校B109室 内線54-291）までお問い合わせください。なお、計画書の様式は、当部門のホームページからダウンロードが可能です。
- * 研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入して下さい。また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。
- * 経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。
- * 申請額の上限は9万円、採択件数は2件程度の予定です。
- * 研究計画書（1部）は、**7月10日（月）正午までに**、へき研事務室に提出もしくはメール送信してください。

(2) 研究計画の採否

- * 7月下旬を目処に決定します。応募が多い場合には予算減額もしくは採択件数を調整（減数）する場合があります。

(3) 研究成果について

- * 研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第73号に投稿することになります。原稿の締め切りは、**平成30年6月末日**です。
- * なお、へき地教育研究に関する成果普及を目的として、平成30年3月8日に当部門が主催する『へき地フォーラム』にご参加いただき、話題提供いただくことがあります。

(4) 研究計画の申請にあたって

研究計画の申請にあたり、投稿原稿は、へき地・小規模校教育に係る研究論文（学術論文としての体裁を有するもの）、研究ノート（実践報告を含む）、その他研究活動に関するものとします。研究論文、研究ノートは、次の3つの領域に属するものとし、①②③の各領域の関連については例示を参考にしてください。

- ①へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ②へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ③へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

《テーマの例示》

- ◇学習指導・複式指導・少人数学級経営・生徒指導に関する領域
 - ・へき地の社会性を伸ばす学級経営
 - ・へき地の複式学習指導
 - ・へき地の生徒指導
 - ・へき地の少人数指導・特別支援教育
 - ・へき地のICTを活かした教育活動
 - ・へき地の教科教育内容
- ◇学校運営・地域連携に関する領域
 - ・へき地の学校運営
 - ・へき地の学校・地域連携における教育活動
 - ・へき地の体力向上を目指した活動
- ◇特別活動に関する領域
 - ・へき地の特色ある教育活動
- ◇その他（へき地教育関連分野で編集委員会が認めたもの）

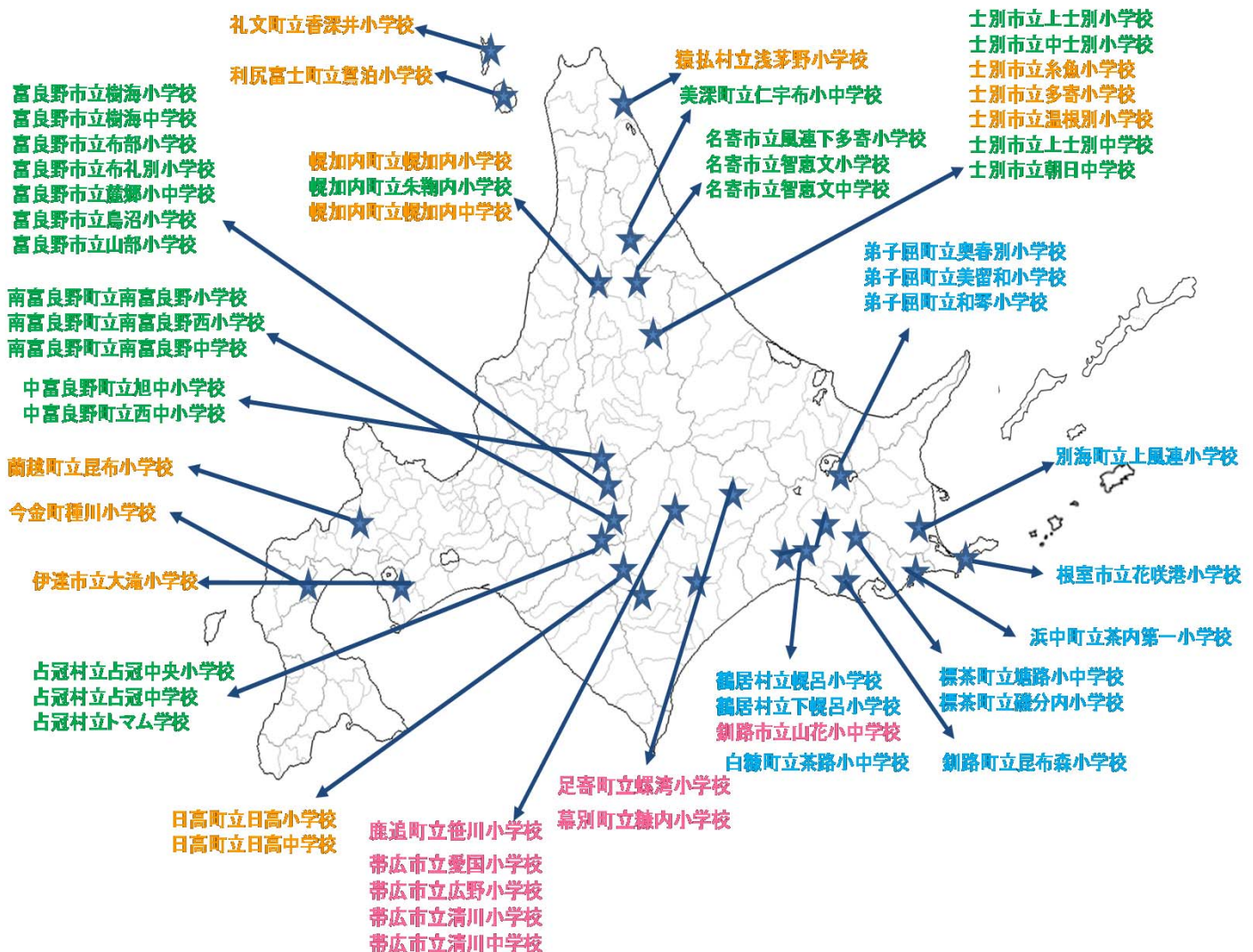
研究課題領域

- ・へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ・へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ・へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

下記に研究テーマを例示しています。

5. 平成29年度「へき校体験実習」実習協力校一覧

平成29年度は、全道27市町村実習協力校は57校、受講生は札幌校・旭川校・釧路校の合計130名が受講します。関係の先生方には、巡回指導等でへき地小規模校に訪問いただく機会もありますが、学生指導等どうぞよろしくお願いいたします。



平成29年度 実習協力校 27市町村 57校 実習生合計130名

橙字は夏期 13校
札幌校2・4年生対象

緑字は夏期 24校
旭川校2・4年生対象

ピンク字は夏期 8校
釧路校2年生対象

青字は秋期 12校
釧路校3・4年生対象